

3D都市モデル【令和7年度の取組】

高校生まちづくりワークショップ 【対象：熊谷高校、熊谷女子高校、熊谷西高校の生徒】

令和6年度に開発したまちづくりシミュレーションを体験できるシステムをベースに、より使いやすい機能を開発する。今年度は、生徒の希望するエリアにおけるまちづくりの課題を3D都市モデル上で可視化し、シミュレーションを通して解決策の提案を行う。

高校			参加者数 (最大)
熊谷高校	普通科	2年生	30人
熊谷女子高校	普通科	2年生	40人
熊谷西高校	普通科	2年生	40人

浸水シミュレーションを活用した防災ワークショップ 【対象：避難所運営委員会のメンバー】

避難所を開設した場合の対応を平時から話し合う組織である「避難所運営委員会」の立ち上げに意欲のあるエリアについて、利根川、荒川の破堤点データを取得、浸水ポリゴンデータを作成し、3D都市モデルに重ね合わせ、災害リスクを可視化する。また、避難所運営委員会のメンバーを対象としたワークショップを開催する。



浸水シミュレーションを活用した防災ワークショップ 【対象：防災部局職員】

準用河川新星川の3D浸水ポリゴンデータを3D都市モデルに重ね合わせ、市民の居住エリアの危険度を可視化する。防災部局職員に対し、本シミュレーションの勉強会を開催し、想定される浸水範囲や浸水深、想定被害の理解度向上を図るとともに、垂直避難可能な建物や避難所への安全な経路の選定を行う。



人流可視化事業

市の中心市街地を東西に横断する星川周辺において、グリーンスローモビリティ等の社会実験を実施している間とそれ以外の人流データを取得、3D都市モデルに重ね合わせて可視化し、影響を分析する。可視化したデータを熊谷版Dicidim「ツノルバ」に掲載、市民の意見を収集し、各種施策の検討に繋げていく。

